

平成29年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月14日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2769 URL <http://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 滝島 知樹

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	26,821	22.1	224	18.7	98	61.7	267	
28年5月期第3四半期	34,447	0.5	276	58.7	257	64.6	63	

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 289百万円 (%) 28年5月期第3四半期 88百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	34.71	
28年5月期第3四半期	8.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	25,963	7,292	27.9
28年5月期	29,033	7,689	26.3

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 7,253百万円 28年5月期 7,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期		0.00		14.00	14.00
29年5月期		0.00			
29年5月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,737	23.6	241		90		784		101.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社チチカカ

(注)詳細は、添付資料P. 4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年5月期3Q	7,700,500 株	28年5月期	7,699,400 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

29年5月期3Q	1 株	28年5月期	株
----------	-----	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

29年5月期3Q	7,700,226 株	28年5月期3Q	7,695,608 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

チチカカ事業の業績悪化に伴う事業構造改善に関する意思決定を取締役会（平成28年6月30日付）で行い、平成28年8月1日に株式会社チチカカの株式譲渡を完了しました。第1四半期連結会計期間より株式会社チチカカの連結除外及びTITICACA HONGKONG LIMITEDの事業縮小を行っております。

当第3四半期連結累計期間（平成28年6月1日～平成29年2月28日）におけるわが国経済は、政府による経済政策は継続されるものの、新興国経済の減速やイギリスのEU離脱問題、アメリカ大統領選挙などを要因とした為替の急激な変動、日経平均株価の荒い値動きなど、今後の企業業績への影響が注視されております。

小売業界におきましては、消費の下支えとなる訪日観光客は、依然として増加基調ではありますが、消費に至っては商品購入における消費単価は低下、観光地訪問などのサービス消費へ向かう傾向がより強く表れてきております。国内の個人消費につきましても継続的な物価上昇に伴い、節約志向・選別消費の傾向がますます強くなる状況であります。

このような状況の下、当社グループは、お客様の期待に応え、選ばれる店舗をめざし、店舗ごとに独創的な空間を創出することにより、「新しい発見」や「買い物の楽しさ」をお客様に提供する事業活動を継続して行ってきました。店舗運営における新規出店店舗については当社の魅力を再認識してもらえる店づくりおよび業態の変革への取り組み、既存店舗についてはPOSを活用した商品施策の継続、また、店舗集客を目的とした情報発信源としてフェスの開催や魅力ある店舗作りのコンテストを実施するなど、店舗運営におけるサポート体制の強化を図りつつ、新たな収益源の確保に向けた外販活動にも取り組むとともに、販売費及び一般管理費の削減にも取り組んでまいりました。

店舗出店につきましては、インショップへの出店を中心に直営店14店を新規出店し、直営店22店を閉鎖しました。その結果、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店379店、FC店10店の合計389店となりました。

このような事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、客単価は対前年を上回りましたが、購買客数が対前年を下回ったこと及び株式会社チチカカの連結除外の影響により、26,821百万円と前年同四半期と比べ7,626百万円の減収（22.1%減）となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、売上の減少が影響し10,663百万円と4,545百万円減少（29.9%減）いたしました。販売費及び一般管理費については削減及び効率化に取り組んでまいりましたが、営業利益は224百万円と前年同四半期と比べ51百万円の減益（18.7%減）となりました。また、子会社売却に関する損失が発生したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失は267百万円（前年同四半期は63百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間から、「㈱チチカカ」セグメントの消滅及び「TITICACA HONGKONG LIMITED」セグメントの重要性が低下したため、報告セグメントを従来の「㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション」、「㈱チチカカ」、「TITICACA HONGKONG LIMITED」及び「その他」の報告セグメントの区分から、「㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション」の報告セグメントの区分に変更しております。以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

①株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE（雑貨類）及びニューメディア（CD・DVD類）、食品、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、本格的なアメリカンハンバーガーを提供する飲食店「ヴィレッジヴァンガードダイナー」、食べるコトの楽しさを提案する「HOME COMING」「こととや」、他社とのコラボレーションによる飲食店「コラボカフェ」、アウトレット業態を運営しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は26,030百万円と前年同四半期と比べ1,169百万円の減収（4.3%減）となりましたが、売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、売上の減少が影響し10,234百万円と713百万円減少（6.5%減）いたしまし

た。売上総利益の減少の結果、営業利益は249百万円と前年同四半期と比べ379百万円の減益（60.3%減）となりました。店舗数につきましては直営店14店の新規出店、直営店19店の閉鎖をし、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は直営店374店、FC店10店の合計384店となりました。

②その他

株式会社Village Vanguard Webbedは日本国内でオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。取扱商品といたしましては、個人クリエイターが作成した商品、アーティストとのコラボ商品などを多く取り扱い、画一的でなく、面白味のある商品を多数取り扱っております。TITICACA HONGKONG LIMITEDは香港にて直営店3店を展開し、エスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は848百万円と前年同四半期と比べ6,846百万円の減収（89.0%減）となりました。営業損失は37百万円（前年同四半期は351百万円の営業損失）となりました。

なお、本セグメントに記載しております海外事業につきましては、賃貸借契約条件や今後の店舗損益を考慮して事業を撤退することを決定しております。比利緹卡(上海)商贸有限公司につきましては、平成28年3月末をもって店舗事業から撤退し、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにつきましても平成28年6月末をもって店舗を閉店いたしております。また、Village Vanguard (Taiwan) Limitedにつきましては、会社清算をいたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.7%減少し、21,377百万円となりました。これは、商品が540百万円、現金及び預金が1,169百万円、売掛金が452百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて14.3%減少し、4,585百万円となりました。これは、工具、器具及び備品が33百万円、差入保証金が737百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて10.6%減少し、25,963百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて21.3%減少し、9,125百万円となりました。これは、買掛金は37百万円増加いたしました。未払金が196百万円、未払消費税等が209百万円、短期借入金が1,190百万円、1年内返済予定の長期借入金が415百万円、店舗閉鎖損失引当金が103百万円、賞与引当金が109百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、9,545百万円となりました。これは、長期借入金が450百万円増加いたしました。資産除去債務が462百万円、長期未払金が193百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて12.5%減少し、18,670百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて396百万円減少し、7,292百万円となりました。これは、配当金の支払いが107百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失267百万円により利益剰余金が375百万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,169百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には2,820百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は19百万円（前年同四半期は669百万円の収入）となりました。

これは、減価償却費365百万円、仕入債務の増加額340百万円があったものの、たな卸資産の増加額571百万円、法人税等の支払額201百万円があったためであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3,310百万円（前年同四半期は862百万円の支出）となりました。

これは、主に子会社株式の売却に伴う支出が2,871百万円あったためであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は2,158百万円（前年同四半期は1,706百万円の収入）となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出が3,459百万円、短期借入金の減少が290百万円、配当金の支払額が107百万円あったものの、長期借入れによる収入が6,282百万円あったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年1月13日発表の平成29年5月期の通期の連結・個別業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった株式会社チチカカの株式を全て売却したことにより、株式会社チチカカは当社の特定子会社に該当しないこととなり、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,990	2,820
売掛金	1,722	1,270
商品	17,709	17,168
繰延税金資産	10	10
その他	253	110
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	23,685	21,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,009	1,968
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	341	307
建設仮勘定	6	8
有形固定資産合計	2,356	2,284
無形固定資産		
ソフトウェア	259	236
ソフトウェア仮勘定	58	139
その他	1	1
無形固定資産合計	319	377
投資その他の資産		
長期前払費用	172	161
差入保証金	2,499	1,761
その他	0	0
投資その他の資産合計	2,672	1,923
固定資産合計	5,347	4,585
資産合計	29,033	25,963

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,896	3,933
短期借入金	1,390	200
1年内返済予定の長期借入金	4,105	3,690
未払金	639	443
未払法人税等	171	106
未払消費税等	220	10
株主優待引当金	150	64
賞与引当金	148	39
店舗閉鎖損失引当金	102	—
資産除去債務	20	14
その他	745	621
流動負債合計	11,592	9,125
固定負債		
長期借入金	7,003	7,454
長期未払金	400	207
役員退職慰労引当金	311	320
退職給付に係る負債	294	284
資産除去債務	1,686	1,224
その他	54	54
固定負債合計	9,751	9,545
負債合計	21,343	18,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,246	2,246
資本剰余金	2,223	2,223
利益剰余金	3,166	2,791
自己株式	—	△0
株主資本合計	7,636	7,262
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	46	17
退職給付に係る調整累計額	△33	△26
その他の包括利益累計額合計	12	△9
新株予約権	40	39
純資産合計	7,689	7,292
負債純資産合計	29,033	25,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	34,447	26,821
売上原価	19,238	16,158
売上総利益	15,208	10,663
販売費及び一般管理費	14,932	10,438
営業利益	276	224
営業外収益		
仕入割引	34	28
業務受託料	57	62
為替差益	—	25
その他	46	31
営業外収益合計	139	146
営業外費用		
営業外支払手数料	39	166
支払利息	102	97
為替差損	7	—
その他	8	8
営業外費用合計	158	273
経常利益	257	98
特別利益		
固定資産売却益	5	—
新株予約権戻入益	7	10
特別利益合計	12	10
特別損失		
固定資産売却損	16	—
固定資産除却損	113	30
減損損失	32	70
子会社株式売却損	—	150
特別損失合計	162	251
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	107	△142
法人税等	171	124
四半期純損失(△)	△63	△267
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△63	△267

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)
四半期純損失(△)	△63	△267
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△26	△28
退職給付に係る調整額	0	6
その他の包括利益合計	△25	△22
四半期包括利益	△88	△289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88	△289
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	107	△142
減価償却費	678	365
減損損失	32	70
子会社株式売却損益(△は益)	—	150
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	40	27
売上債権の増減額(△は増加)	370	36
たな卸資産の増減額(△は増加)	△592	△571
仕入債務の増減額(△は減少)	300	340
その他	27	0
小計	966	277
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△102	△97
法人税等の支払額	△196	△201
営業活動によるキャッシュ・フロー	669	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20	—
有形固定資産の取得による支出	△612	△226
無形固定資産の取得による支出	△119	△124
差入保証金の差入による支出	△83	△62
差入保証金の回収による収入	—	50
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△2,871
その他	△66	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△862	△3,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	490	△290
長期借入れによる収入	4,084	6,282
長期借入金の返済による支出	△2,954	△3,459
社債の償還による支出	△10	—
長期未払金の増減額(△は減少)	233	△111
配当金の支払額	△106	△107
新株予約権の発行による収入	6	10
その他	△36	△165
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,706	2,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,499	△1,169
現金及び現金同等物の期首残高	2,282	3,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,782	2,820

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年6月1日至平成28年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他(注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	(株)ヴィレッジヴァンガードコーポレーション				
売上高					
外部顧客への売上高	27,181	7,265	34,447	—	34,447
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	429	447	△447	—
計	27,199	7,695	34,895	△447	34,447
セグメント利益又は損失(△)	628	△351	277	△1	276

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利緹卡(上海)商贸有限公司、(株)チチカカ、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成28年6月1日至平成29年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注） 3	合計	調整額 （注）1	四半期連結財務諸表計上額 （注）2
	㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション				
売上高					
外部顧客への売上高	26,030	790	26,821	—	26,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	58	58	△58	—
計	26,030	848	26,879	△58	26,821
セグメント利益又は損失（△）	249	△37	211	13	224

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額13百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利緹卡（上海）商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。なお、Village Vanguard (Taiwan) Limitedにつきましては平成28年12月12日に清算終了しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「㈱チチカカ」として報告セグメントの開示をしておりました株式会社チチカカは、平成28年8月1日にその全株式を譲渡したため、第1四半期連結会計期間の期首より同社を連結の範囲から除外しております。

また、従来、報告セグメントとして開示しておりました「TITICACA HONGKONG LIMITED」は、事業規模縮小等により量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し「その他」としております。このため、第1四半期連結会計期間より、「㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション」のみを報告セグメントとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。